

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>		特別支援教育設備整備費等補助		<b>担当部局庁</b>	初等中等教育局			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	昭和32年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	特別支援教育課			特別支援教育課長 山田 泰造	
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定)				
<b>主要政策・施策</b>	障害者施策			<b>主要経費</b>	文教及び科学振興				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	私立の特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級において教育上必要となる設備等の整備に要する経費について補助することで私立学校における特別支援教育の教育環境の整備を図るものである。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	I. 特別支援教育設備整備事業 障害状況に応じた適切な教育を実施するにあたり、特別に必要な設備整備に要する経費 II. 最新の情報機器等整備事業 障害のある児童生徒の情報教育において、視覚障害児・肢体不自由児・知的障害児など障害の種類や程度に応じた特別な情報機器の整備に要する経費 III. 学校安全設備整備事業 学校における突発的な事件・事故に対応するため、特別支援学校等において、障害による種々の困難に特別に配慮した安全管理に必要な設備整備に要する経費 (補助率……1/2)								
<b>実施方法</b>	補助								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	<b>予算の状況</b>	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
		補正予算	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-					
		予備費等	-	-					
		計	4	3	6	6	7		
	執行額	4	3	6					
	執行率 (%)	100%	100%	100%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	100%	100%	100%					
	<b>令和4・5年度予算内訳</b> (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
学校教育設備整備費等補助金		6	7						
計		6	7						
<b>活動内容</b> (アクティビティ)	私立の特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級において教育上必要となる設備等の整備に要する経費について補助を行う。								
<b>活動目標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	特別支援教育設備整備費補助の交付決定	特別支援教育設備整備費補助の交付決定件数	活動実績	件	2	2	3		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	事業費/実施学校数			単位当たりコスト	百万円	2	1.5	2	1.2
				計算式	事業費/実施学校数	4百万円/2校	3百万円/2校	6百万/3校	6百万/5校
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
	私立特別支援学校における設備整備が実施されること	私立特別支援学校の設備整備が国庫補助申請事業計画どおりに実施された割合(件数に基づく割合)	成果実績	%	100	100	100	-	-
			目標値	%	100	100	100	100	-
			達成度	%	100	100	100	-	-
<b>根拠として用いた統計・データ名</b> (出典)	過去の実施実績を踏まえ設定								
<b>生計画・財政関再</b>	<b>政策評価</b>	<b>政策</b>	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり						
		<b>施策</b>	2-8 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進	政策評価書 URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-2_8.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-2_8.pdf</a>				

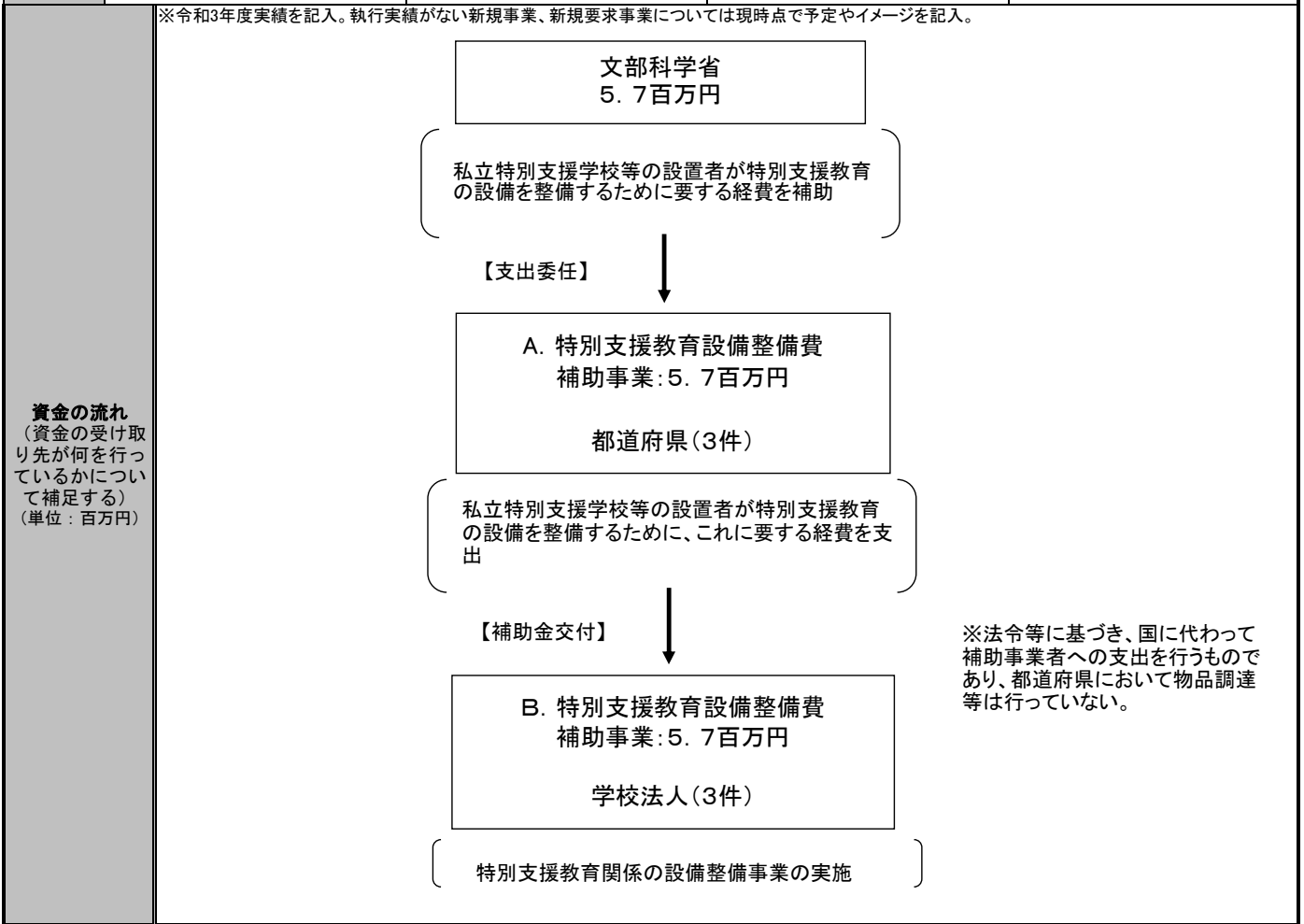
**事業所管部局による点検・改善**

項目		評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	私立の特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級における教育環境の整備を図ることを目的としており、国民や社会のニーズを反映している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	私立の特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級において、児童生徒の障害の状況に応じた適切な教育を実施するに当たり、特別に必要な設備の整備に要する経費について補助するものであり、国が特別支援教育を推進していく上で必要な経費である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	施策の達成目標である「障害のある子供一人一人の教育的ニーズを把握し適切な支援を行う」ために必要な事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。</td> <td align="center">無</td> <td rowspan="2">補助金の交付決定に当たっては、申請書及び見積書・設備に関するカタログ等を精査し、費目・使途の内容等、及び必要性について適切にチェックを行っているところである。</td> </tr> <tr> <td>競争性のない随意契約となったものはないか。</td> <td align="center">無</td> </tr> </table>	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	補助金の交付決定に当たっては、申請書及び見積書・設備に関するカタログ等を精査し、費目・使途の内容等、及び必要性について適切にチェックを行っているところである。	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	補助金の交付決定に当たっては、申請書及び見積書・設備に関するカタログ等を精査し、費目・使途の内容等、及び必要性について適切にチェックを行っているところである。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助率は1/2としており、事業主体である学校法人と妥当な負担関係としている。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業経費の内容を厳正に審査しており、妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	補助金の交付決定及び額の確定に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査しており、必要なものは限定されている。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行い、予算の範囲において補助している。						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	補助交付申請事業者に対し、国庫補助をもれなく実施しており、成果実績は成果目標に見合ったものになっている。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	交付対象学校はほぼ見込みと同程度であり、活動実績は見込みに見合ったものになっている。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	補助事業を実施することにより、私立の特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級において、児童生徒のニーズを踏まえて特別に必要な設備整備の推進が図られていることから、実効性の高い事業となっており、整備された施設は十分に活用されている。					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:30%;">事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	事業番号	事業名					
事業番号	事業名							
点検・改善結果	点検結果	本事業は、事業者より提出された事業計画書や実績報告書等により審査を行い、支出の適正性、使途の確認、必要に応じて電話等での確認により、状況把握を行っており、適切に実施がなされている。						
	改善の方向性	引き続き、適切に事業を実施するため、事業者より提供される事業計画書や実績報告書等により審査を行い、支出の適正性、使途の確認、必要に応じて電話等での確認により、状況把握を行う。						
<b>外部有識者の所見</b>								
外部有識者による点検対象外								
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>								
現状通り	この事業は、昭和32年度から行われている長期継続事業で、私立の特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級において教育上必要となる設備等の整備に要する経費について補助することで私立学校における特別支援教育の教育環境の整備を図る事業であり、現行において特段の見直す内容は認められず、現在の事業を引き続き維持すべきである。							
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>								
現り状況	引き続き、都道府県、学校法人との連携を密にし、当該事業を円滑に進めることにより、特別支援教育を推進してまいりたい。							
<b>備考</b>								

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	122			
平成24年度	127			
平成25年度	120			
平成26年度	123			
平成27年度	118			
平成28年度	115			
平成29年度	120			
平成30年度	122			
令和元年度	文部科学省 - 0116			
令和2年度	文部科学省 0116			
令和3年度	2021 文科 20 0121			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.三重県			B.学校法人特別支援学校聖母の家学園			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
補助金	学校教育設備整備費等補助金の支出	3.1	設備整備費	特別支援教育設備整備事業	3.1		
計			3.1	計			3.1

